

令和 3 年度

入学者選抜要項

宮崎公立大学

宮崎公立大学 建学の理念・目的

宮崎公立大学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学として生涯学習の振興、産業経済の発展及び文化の向上に貢献することを目的とする。

～ 幅広い分野の学問に触れ、さまざまな想いを持つ人々と交わる。
教養豊かな真の自由人を育てるMMU（宮崎公立大学）では、
あなた次第で無限の可能性が広がる。
さあ、未来へとつながるMy StudyをMMUで始めましょう。 ～

[目 次]

I	学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針	1
1	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	1
2	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	1
3	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
II	募集人員	4
III	選抜に係る期日	4
IV	一般選抜	5
V	特別選抜等	8
	● 学校推薦型選抜 I	8
	● 学校推薦型選抜 II	9
	● 帰国生選抜	11
	● 社会人選抜	12
	● 私費外国人留学生選抜	13
	● 編入学試験（一般編入学・私費外国人留学生編入学）	14
VI	身体に障がいがある入学志願者との事前相談	17
VII	学生募集要項の配布	17
VIII	インターネット出願について	18
IX	その他	18
X	問い合わせ・事前相談・募集要項請求先	18

I 学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針

1 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

宮崎公立大学は、建学の理念とリベラルアーツ教育に基づいて、人材育成目標である「教養あるグローバル人材」を育成します。「教養あるグローバル人材」育成のための教育課程を修め教育目標を達成した者に学士（人文学）の学位を授与します。

「人材育成目標」

国際的な視野、幅広い知識と確かな専門性、言語によるコミュニケーション能力を備えた上で、人間文化の現代的課題を探究でき、グローバル化する世界で多様な人々とともに主体的に活動できる人材を育成します。

「教育目標」

・創造的な問題解決能力

創造的な問題解決能力とは、必要な情報を処理する技能を備え、根拠に基づいて論理的に考え表現することができ、そして問題を発見解決するための新しいアイデアや価値を生み出せる能力です。

・コミュニケーション能力

コミュニケーション能力とは、日本語と英語を用いて、自由で対等なコミュニケーションを取ることと他者と協力できる能力です。

・異文化理解対応力

異文化理解対応力とは、グローバル化する世界の多文化状況を理解し、その中で主体的に判断し行動することができるようになることです。

2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

「教育内容」

- ・国際文化学科の教育課程は専門課程と教養課程によって構成されています。
- ・専門課程は、言語・文化専攻、メディア・コミュニケーション専攻、国際政治経済専攻の3専攻からなります。また、教養課程はグローバル人材養成プログラムと現代教養科目群からなります。
- ・言語・文化専攻では、哲学、歴史学、文学の研究に加え、英語を中心とした言語研究や文化の多様性とそれらの比較研究によって、グローバル化する人間文化の本質を理解します。
- ・メディア・コミュニケーション専攻では、社会学や情報リテラシーを学びながら、特にメディアとの関係で、人間の社会行動を研究します。メディアを通して、情報や知識が作られ、それらが社会に広がり、社会を変えていく過程についての研究を通して、グローバル化する人間文化を理解します。
- ・国際政治経済専攻では、人間文化に重大な影響を与えるグローバル化について国際政治学や国際経済学の観点から分析し理解するとともに、グローバル化に対する戦略や政策も研究します。さらに世界各地の政治と経済に関する多様な専門知識も修得します。
- ・演習科目は、1年次から4年次まで一貫して演習が開講され、すべて必修です。演習科目は、1年次にアカデミックな読み書きのスキルを学ぶ基礎演習、2年次にグループワークで地域課題に取り組む基幹演習、3年次から4年次にわたる専門演習において専門の知識や方法を学び、学修の集大成としての卒業論文を必修としています。

- ・グローバル人材養成プログラムは、英語教育プログラム、東アジア言語教育プログラム、異文化実習プログラム、情報教育プログラムによって構成されています。
- ・英語教育プログラムでは、高度な四技能（聞く、話す、読む、書く）のコミュニケーション能力を修得します。
- ・東アジア言語教育プログラムでは、コミュニケーション能力、特に中国語または韓国語の「聞く」「話す」能力を修得します。
- ・異文化実習プログラムは、英語圏、中国、韓国での短期の語学学習と文化体験からなり、それによって異文化理解対応力を身に付けます。
- ・情報教育プログラムでは、大学生活において必要不可欠な基本的な情報スキルを習得します。
- ・現代教養科目群では、現代の社会生活を実り豊かに過ごすための教養として、人文学、社会科学、自然科学、スポーツ健康、キャリア教育の5分野にわたる幅広い教養科目を開講しています。

「教育方法」

- ・英語教育プログラムでは、能力別のクラス編成を行い、英語のコミュニケーション能力の向上をはかります。
- ・専門課程では、幅広い専門知識を身につけるために専攻横断的に各科目を履修します。
- ・専門課程の科目の段階的な学修のために専門基礎、基幹、展開という順に履修するとともに、各科目に番号を付された科目の順に履修します。
- ・1年次の基礎演習、2年次の基幹演習、3～4年次の専門演習という少人数の演習科目を履修します。

「評価」

GPAにより厳格な成績評価を行います。

3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

「求める学生像」

- ・英語のコミュニケーション能力のさらなる向上とともに、異文化に対する理解力や対応力の習得に意欲を持つ人。
- ・地域社会のみならず、広く国際社会の課題の探究と解決に、主体的に取り組む姿勢を持つ人。
- ・幅広い教養を積極的に吸収するとともに、言語・文化、メディア・コミュニケーションや国際政治経済に関する専門分野をきわめたい人。

「入学者選抜について」

人文学部国際文化学科では、一般選抜（前期日程、後期日程）、学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ）、帰国生選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な学生を受け入れることを目指しています。

・一般選抜（前期日程）

大学入学共通テスト（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、個別学力検査（英語）で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

・一般選抜（後期日程）

大学入学共通テスト（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、個別学力検査（小論文）で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

・学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

学校推薦型選抜Ⅰは大学入学共通テストを課さない宮崎県内卒の学校推薦型選抜です。

小論文、面接、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

学校推薦型選抜Ⅱは大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜です。個別学力試験はありません。

大学入学共通テスト（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

・帰国生選抜

小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

・社会人選抜

小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

・一般編入学試験（2年次・3年次）

小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、本学の2年次または3年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

・私費外国人留学生編入学試験（2年次・3年次）

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、2年次または3年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

Ⅱ 募集人員

学部・学科	入学定員	募 集 人 員					
		一 般 選 抜		特 別 選 抜 等			
		前 期 日 程	後 期 日 程	選 課 （ 大 学 入 学 共 通 テ ス ト を 推 薦 型 選 抜 ）	選 課 （ 大 学 入 学 共 通 テ ス ト を 推 薦 型 選 抜 ）	帰 国 生 選 抜	社 会 人 選 抜
人文学部 国際文化学科	200名	90名	30名	60名	20名	若 干 名 〔 一般選抜前期日程 募集人員の内数 〕	

Ⅲ 選抜に係る期日

1 一般選抜

出願期間	選抜期日		合格発表
令和3年1月25日（月） ～2月5日（金） 《※1》	前期日程	令和3年2月25日（木） 《※2》	令和3年3月5日（金）
	後期日程	令和3年3月12日（金） 《※2》	令和3年3月20日（土・祝）

※1 令和3年2月13日（土）・14日（日）に実施される大学入学共通テスト「特例追試験」を受験した者で、本学以外の国公立大学の一般選抜（前期日程または後期日程）に出願していない場合は、令和3年2月15日（月）～18日（木）に本学の当該日程試験に出願できます。

※2 各日程の選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

2 特別選抜等

項目	出願期間	選抜期日	合格発表
・ 学校推薦型選抜 I ・ 帰国生選抜 ・ 社会人選抜 ・ 私費外国人 留学生選抜 ・ 編入学試験	令和2年11月2日（月） ～11月6日（金）	令和2年11月21日（土） 11月22日（日） 《※1》	令和2年12月9日（水）
・ 学校推薦型選抜 II （大学入学共通テストを課す）	令和3年1月18日（月） ～2月1日（月）	—	令和3年2月11日（木） 《※2》

※1 選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

※2 令和3年2月13日（土）・14日（日）の大学入学共通テスト「特例追試験」を受験し、「学校推薦型選抜II」に合格した者への合格通知日は、令和3年2月20日（土）になります。

IV 一般選抜

1 出願資格

令和3年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和3年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者および令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

【注意】

(4)により出願を希望する者は、令和2年7月1日（水）から令和2年8月31日（月）までに入学資格認定のための申請書を提出する必要があります。ついては、早めに宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。

ただし、令和3年度大学入学共通テストを受験した者で、受験後に本学の入学資格の認定を受けようとする場合は、令和3年1月18日（月）から令和3年1月22日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出してください。

2 選抜方法

大学入学共通テスト（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、個別学力検査で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

試験科目および試験時間

大学入学共通テスト利用教科・科目		個別学力検査	
		学力検査教科・科目・範囲等	試験時間
前期日程	[3教科・3科目] (必須) 国語「国語」 外国語「英語」(リーディング・リスニング) (選択) 「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 ①地理歴史 「地理A」「地理B」 ・公民 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	外国語(英語) コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	120分
		②数学 「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」 ③理科 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 上記①②③の24科目から1科目 (注) 理科の「基礎を付した科目」は2科目の受験をもって1科目とします。	小論文

3 選抜に係る期日

出願期間	選抜期日		合格発表
令和3年1月25日(月) ~2月5日(金) 《※1》	前期日程	令和3年2月25日(木) 《※2》	令和3年3月5日(金)
	後期日程	令和3年3月12日(金) 《※2》	令和3年3月20日(土・祝)

※1 令和3年2月13日(土)・14日(日)に実施される大学入学共通テスト「特例追試験」を受験した者で、本学以外の国公立大学の一般選抜(前期日程または後期日程)に出願していない場合は、令和3年2月15日(月)~18日(木)に本学の当該日程試験に出願できます。

※2 各日程の選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

4 学力検査等の配点

① 前期日程

区 分	国 語	英 語	地理歴史 ・公民	数 学	理 科	合 計
大学入学共通テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	650
個別学力検査	—	200	—	—	—	200
合 計	200	450	(200)	(200)	(200)	850

(注) 1 大学入学共通テストの英語は「リーディング」(100点満点)を150点満点に換算し、「リスニング」(100点満点)との合計得点(250点満点)を利用します。

(注) 2 大学入学共通テストで、地理歴史・公民、数学、理科のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1科目を採用します。

(注) 3 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。

② 後期日程

区 分	国 語	英 語	地理歴史 ・公民	数 学	理 科	小論文	合 計
大学入学共通テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	—	650
個別学力検査	—	—	—	—	—	100	100
合 計	200	250	(200)	(200)	(200)	100	750

(注) 1 大学入学共通テストの英語は「リーディング」(100点満点)を150点満点に換算し、「リスニング」(100点満点)との合計得点(250点満点)を利用します。

(注) 2 大学入学共通テストで、地理歴史・公民、数学、理科のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1科目を採用します。

(注) 3 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。

5 その他

①合否ラインで志願者が同点で並んだ場合、調査書等を判断材料として活用します。調査書等の内容を評価し、評価の高い者から順番に合格とします。

②入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

③令和3年度入学者選抜から、一般選抜(前期日程・後期日程)はインターネット出願のみの取扱いとなります。詳しくは、「Ⅷ インターネット出願について」(18ページ)を確認してください。

V 特別選抜等

● 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）

1 出願資格

次の（１）から（５）のすべてに該当する者。

（１）次の①から③のいずれかに該当する者

①宮崎県内の高等学校もしくは中等教育学校を令和２年度卒業見込みの者または令和２年度内卒業業者

②宮崎県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を令和２年度修了見込みの者または令和２年度内修了者

③本人が令和２年４月１日以前から出願日まで引き続き宮崎県内に住所を有する者で高等学校の通信制課程（広域通信制課程を含む。）を令和２年度卒業見込みの者または令和２年度内卒業業者

（２）全体の学習成績の状況が4.0以上の者

（３）外国語（英語）の学習成績の状況が4.3以上の者または高等学校等在学中に実用英語技能検定準2級以上取得の者

（４）志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者

（５）合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

（注）大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 推薦者数

1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

3 選抜方法

小論文、面接、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

4 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和２年11月２日（月） ～11月６日（金）	令和２年11月21日（土） 11月22日（日） 《※１》	令和２年12月９日（水）

※１ 選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

● 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）

1 出願資格

令和3年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目（10ページ）を受験した者で、次の①～⑥のいずれにも該当する者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を令和2年度卒業見込みの者または令和2年度内卒業者、もしくは学校において通常の課程による12年の学校教育を令和2年度修了見込みの者または令和2年度内修了者
- ② 全体の学習成績の状況が4.0以上の者
- ③ 外国語（英語）の学習成績の状況が4.3以上の者または高等学校等在学中に実用英語技能検定準2級以上取得の者
- ④ 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ⑤ 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- ⑥ 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

※但し、本学の学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）に出願し不合格になった者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）に出願することができます。

（注） 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜です。

2 推薦者数

1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

3 選抜方法

大学入学共通テスト（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、出願書類（調査書・推薦書・自己推薦書）の内容によって、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

個別学力検査は課しません。

(1) 大学入学共通テスト利用教科・科目

令和3年度大学入学共通テストの次の教科・科目を受験すること。

教科	科目	科目の選択の方法
国語	「国語」	必須
外国語	「英語」 (リーディング・リスニング)	必須
地理歴史 ・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	左の24科目中1科目 を選択
数学	「数学I」「数学I・数学A」 「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」 (注)「基礎を付した科目」は2科目の受験をもって 1科目とします。	

(2) 大学入学共通テストの配点

区分	国語	英語	地理歴史 ・公民	数学	理科	合計
大学入学共通テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	650

(注) 1 大学入学共通テストの英語は「リーディング」(100点満点)を150点満点に換算し、「リスニング」(100点満点)との合計得点(250点満点)を利用します。

(注) 2 大学入学共通テストで、地理歴史・公民、数学、理科のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1科目を採用します。

(注) 3 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。

(3) 個別学力検査

本学の学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜)では、個別学力検査は実施しません。

4 選抜に係る期日

出願期間	合格発表
令和3年1月18日(月)～2月1日(月)	令和3年2月11日(木)《※1》

※1 令和3年2月13日(土)・14日(日)の大学入学共通テスト「特例追試験」を受験し、「学校推薦型選抜Ⅱ」に合格した者への合格通知日は、令和3年2月20日(土)になります。

● 帰国生選抜

1 出願資格

- 日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、外国において教育を受けた者で、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)の要件を満たす者。
- (1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成31年4月1日から令和3年3月31日までに卒業した者および卒業見込みの者（修了および修了見込みの者を含む。）で、外国において最終学年を含め2年以上継続して学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受けている者
 - (2) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を平成31年4月1日から令和3年3月31日までに卒業した者または卒業見込みの者のうち、中学校・高等学校もしくは中等教育学校を通じて3年以上外国の学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受け、かつ日本の高等学校もしくは中等教育学校の後期課程の在学期間が2年未満の者
 - (3) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を平成31年から令和2年までに授与された者
 - (4) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

TOEIC	TOEFL (iBT)	IELTS	英検
450点以上	55点以上	4.0以上	準2級以上

※TOEIC-IPとTOEFL-ITPの成績は採用しません。

- ※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学 学務課に相談してください。

(注) 大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 選抜方法

小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和2年11月2日(月) ～11月6日(金)	令和2年11月21日(土) 11月22日(日) 《※1》	令和2年12月9日(水)

- ※1 選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

● 社会人選抜

1 出願資格

令和3年4月1日現在で満23歳以上の社会人で、次の(1)から(6)のいずれかに該当し、(7)の要件を満たす者、かつ、合格した場合に入学することを確約できる者。ただし、出願時において学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校に在籍する者は出願できません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

TOEIC	TOEFL (iBT)	IELTS	英検
450点以上	55点以上	4.0以上	準2級以上

※TOEIC-IPとTOEFL-ITPの成績は採用しません。

- ※ 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学 学務課に相談してください。

(注) 大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 選抜方法

小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和2年11月2日（月） ～11月6日（金）	令和2年11月21日（土） 11月22日（日） 《※1》	令和2年12月9日（水）

- ※1 選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

● 私費外国人留学生選抜

1 出願資格

外国籍を有し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2019年度日本留学試験（日本語・総合科目・数学〈コース1、2いずれでも可〉、出題言語は日本語とする。）を受験した者もしくは2020年度日本留学試験に出願した者で、次のいずれかに該当する者。

※この取り扱いは今年度実施の入学者選抜に限るものですので、ご注意ください。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和3年3月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）またはバカロレア資格（フランス共和国）を授与された者

(注) 大学入学共通テストの受験は必要ありません。

2 選抜方法

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

※独立行政法人日本学生支援機構が実施する2019年度日本留学試験の成績及び独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験の成績を合否判定の参考資料として利用します。日本語能力試験は、2018年度もしくは2019年度に受験したもので最も高いレベルの試験の合否結果通知書《原本》を提出してください。

3 選抜に係る期日

出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
令和2年11月2日（月） ～11月6日（金）	令和2年11月21日（土） 11月22日（日） 《※1》	令和2年12月9日（水）

※1 選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

● 編入学試験（一般編入学・私費外国人留学生編入学）

1 出願資格

■一般編入学（2年次）

次の(1)から(5)のいずれかに該当し、かつ、(6)の要件を満たす者。

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または令和3年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者または令和3年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者または令和3年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (4) 大学において1年以上（休学期間を除く。）在学し、32単位以上を修得した者または令和3年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者または令和3年3月修了見込みの者
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

TOEIC	TOEFL (iBT)	IELTS	英検
500点以上	60点以上	4.5以上	2級以上

※TOEIC-IPとTOEFL-ITPの成績は採用しません。

■一般編入学（3年次）

次の(1)から(5)のいずれかに該当し、かつ、(6)の要件を満たす者。

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または令和3年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者または令和3年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者または令和3年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (4) 大学において2年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上を修得した者または令和3年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者または令和3年3月修了見込みの者
- (6) 次の検定試験のいずれかの基準を満たし、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、出願日から2年以内に取得したものに限る。

TOEIC	TOEFL (iBT)	IELTS	英検
550点以上	65点以上	5.0以上	準1級以上

※TOEIC-IPとTOEFL-ITPの成績は採用しません。

■私費外国人留学生編入学（2年次）

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、次のいずれにも該当する者。

- (1) 外国の大学、外国の短期大学相当の学校教育（14年以上）を卒業もしくは令和3年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を1年次修了または修了見込みの者
- (2) 独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験でN1の認定を得ており、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、今年度実施する編入学試験に限り、日本語能力試験でN2の認定を得ている者または独立行政法人日本学生支援機構が実施する2019年度日本留学試験の「日本語」科目の読解、聴解・聴読解の合計得点が240点以上の者も出願を認めます。

■私費外国人留学生編入学（3年次）

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、次のいずれにも該当する者。

- (1) 外国の大学、外国の短期大学相当の学校教育（14年以上）を卒業もしくは令和3年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を2年次修了または修了見込みの者
- (2) 独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験でN1の認定を得ており、出願に際し証明書を提出できる者。ただし、今年度実施する編入学試験に限り、日本語能力試験でN2の認定を得ている者または独立行政法人日本学生支援機構が実施する2019年度日本留学試験の「日本語」科目の読解、聴解・聴読解の合計得点が240点以上の者も出願を認めます。

2 選抜方法

■一般編入学

小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって本学の2年次または3年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生編入学

日本語による小論文、面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、2年次または3年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

3 選抜に係る期日（一般編入学・私費外国人留学生編入学 共通）

出願期間	選抜期日	合格発表
令和2年11月2日（月） ～11月6日（金）	令和2年11月21日（土） 11月22日（日） 《※1》	令和2年12月9日（水）

※1 選抜期日に欠席した場合、所定の要件を満たし、必要な手続きをした者に対しては、追試験を実施します。詳細は、決定次第、本学ホームページにおいて公表します。

4 重要：編入学後の履修等について（一般編入学、私費外国人留学生編入学共通）

卒業要件科目・単位数	61科目・124単位
2年次編入学	<p>(1) 2年次編入学者の修業年限は3年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。</p> <p>(2) 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、次の通り本学の基準に基づき認定を行います。 包括認定※1：32単位 個別認定※2：8単位 <u>なお、認定された単位の状況および入学後の修学状況によっては、3年間で卒業できない場合があります。</u></p> <p>(3) 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。</p>
3年次編入学	<p>(1) 3年次編入学者の修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。</p> <p>(2) 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、次の通り本学の定める基準に基づき認定を行います。 包括認定※3：50単位 個別単位※2：10単位 <u>なお、認定された単位の状況および入学後の修学状況によっては、2年間で卒業できない場合があります。</u></p> <p>(3) 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。</p> <p>(4) 3年次編入学者の人数によっては、希望するゼミ（専攻）に所属できない可能性があります。</p>

※1 本学における1年次必修科目単位相当（入学時点で自動的に付与されます。）

※2 他大学等で習得した単位のうち、本学で開講されている科目（包括認定対象科目は除く。）の単位として読み替えが可能なものについて個別に申請することができます。ただし、審査により認定されない場合もあります。

※3 本学における1・2年次必修科目単位相当（入学時点で自動的に付与されます。）

VI 身体に障がいがある入学志願者との事前相談

身体に障がいがある入学志願者は、受験上および修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、本学に出願する前に余裕をもって宮崎公立大学学務課まで連絡し、事前相談をしてください。

VII 学生募集要項の配布

本学の入学者選抜については、その詳細を学生募集要項で必ず確認してください。

1 配布開始時期

選 抜 区 分	配布開始時期
学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	9月下旬
帰国生・社会人・私費外国人留学生・編入学	9月下旬
学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	10月下旬

※資料完成日までの請求は、予約受付となります。

※一般選抜はインターネット出願への全面移行のため、学生募集要項は配布しません。10月下旬より本学ホームページでPDFデータにより確認できます。

2 請求方法

学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱの学生募集要項は学校に送付します。希望される学校は本学までご連絡ください。なお、個人からの請求は受付けていませんので、出願を希望される受験者等は学校に相談してください。帰国生・社会人・私費外国人留学生・編入学の学生募集要項の請求は、(1)及び(2)のみの取扱いになります。

(1) 大学窓口で直接受領する場合

月曜日から金曜日（ただし、祝日を除く。）の8時30分から17時15分までの間に宮崎公立大学学務課において受領してください。

(2) 大学へ直接郵送請求する場合

封筒の表に「〇〇選抜学生募集要項請求」と朱書きし、**角形2号**の返信用封筒を同封して

「**Ⅸ 募集要項請求先**」にお申し込みください。

(注) 1 封筒の表の〇〇には、次の選抜の種類の内いずれかを書きます。

「帰国生」「社会人」「私費外国人留学生」「〇〇編入学」

(注) 2 返信用封筒には返送先の住所・氏名を明記し、普通郵便での返送であれば250円分の切手を、また、速達郵便での返送希望の場合は540円分の切手を貼付してください。

(注) 3 2部以上の募集要項を請求される場合は、郵便料金が上記と異なりますので、宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。

VII インターネット出願について

令和3年度から、一般選抜（前期日程・後期日程）は、インターネット出願のみの取扱いとなります。（従来の紙による出願はできません。）

インターネット出願では、紙の願書請求が不要となり、検定料の支払いにコンビニエンスストアやクレジットカードが利用できます。

ただし、調査書や写真等、出願期間中に郵送が必要な書類がありますので、出願前に必ず揃えておいてください。（詳しくは「学生募集要項」等で必ず確認してください。）

- インターネット出願のできる入学者選抜：一般選抜（前期日程・後期日程）に限る。
（注意：学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ、特別選抜、編入学試験は対象外）

- 出願期間：令和3年1月25日（月）～2月5日（金）

- 注意事項

インターネット出願をしようとする者は、出願期間前に「学生募集要項」およびインターネット出願に関する情報（いずれも本学ホームページに10月下旬頃の掲載予定）をよく読んで、入学検定料の入金の方法、郵送すべき書類、郵送用封筒、そのほか出願に際し必要な事項を必ず確認してください。

IX その他

この冊子の情報は、令和2年7月14日時点のものです。試験実施時期における新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、やむを得ず選抜に係る期日等を変更する場合があります。変更がある際は、本学ホームページで公表します。

また、出願にあたっては、各学生募集要項で必ず確認してください。

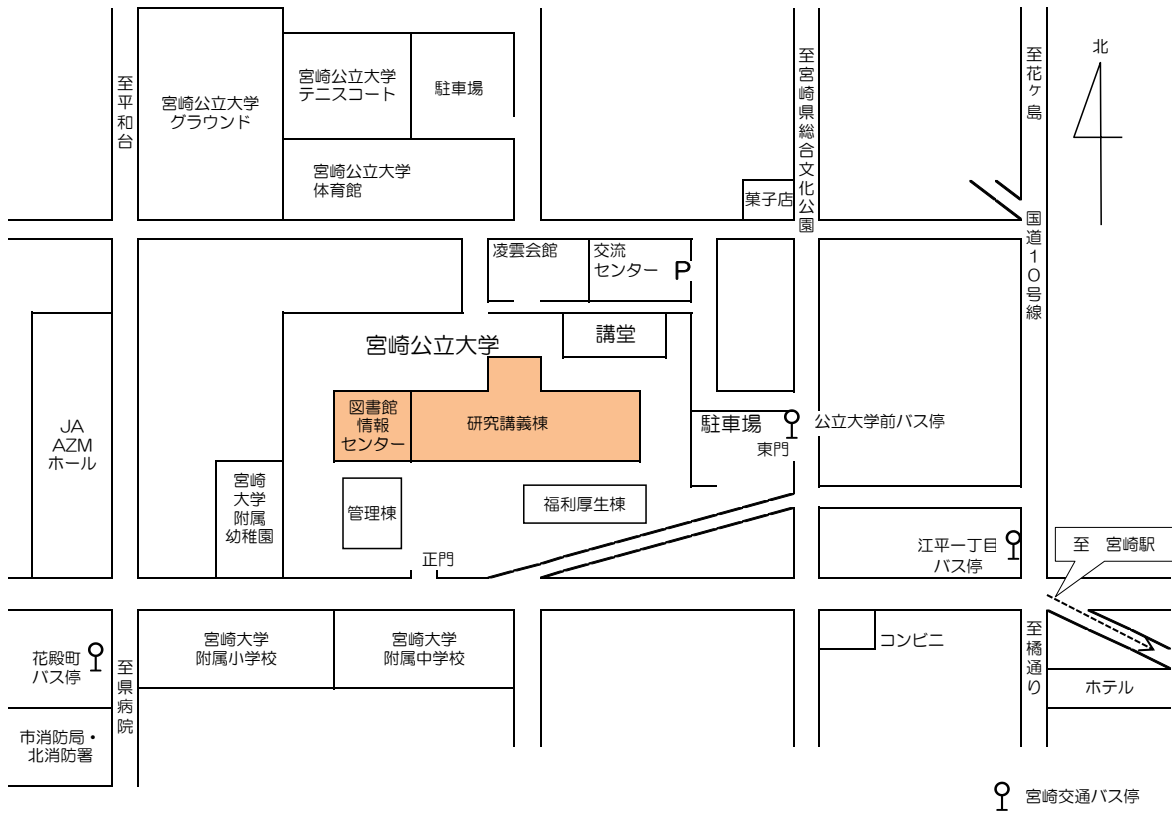
X 問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

宮崎公立大学学務課 宮崎市船塚1丁目1番地2 〒880-8520

電話 0985(20)2212

ホームページアドレス <https://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

宮崎公立大学周辺図

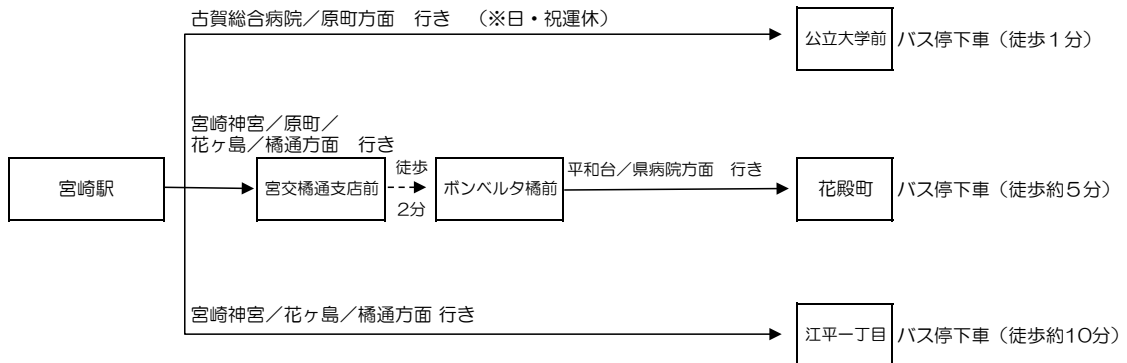


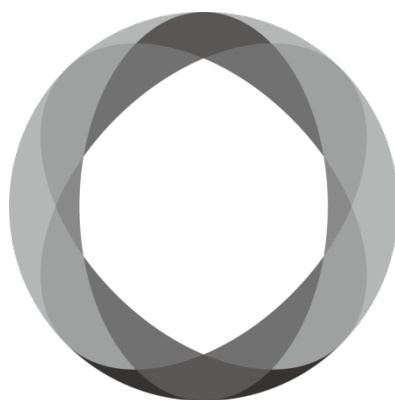
住所：宮崎市船塚1丁目1番地2
 電話：0985（20）2212（学務課）

[交通案内]

- 徒歩 JR宮崎駅から約25分
- 乗用車 JR宮崎駅から約5分
- バス

宮崎交通バス利用例





やわらかな知性を身につける。

宮崎公立大学

MMU LIBERAL ARTS

〒880-8520

宮崎市船塚1丁目1番地2

TEL 0985-20-2212(学務課)

■ホームページアドレス

<https://www.miyazaki-mu.ac.jp/>

■スマートフォンサイト

上記URLの最後にsp/を追加、または、
右記の2次元コードからアクセス! ☞



■宮崎公立大学 携帯電話サイト

《(株)大学情報センター運営サイト》

<https://daigakujc.jp/miyazaki-mu/>

